



2019
No.336 3 月号

News

全国整備工場の皆様へ
NGP 組合員 200 拠点がお届けする
お役立ち情報

2019年3月19日発行
■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス
■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価/1部30円

日整連、2018年度「自動車分解整備業実態調査」結果の概要を公表

総整備売上高は5兆5,295億円と 2年連続で前年度を上回る

日本自動車整備振興会連合会（日整連）はこのほど、平成30年度（2018年度）の「自動車分解整備業実態調査」結果の概要を発表しました。今回の調査結果は2018年6月末時点のデータで、そのうち売上高などは同年6月末時点に最も近い決算期分の数値を基にしています。そのため実質的には2017年4月～2018年3月の実績となります。

それによると、総整備売上高は前年度比0.8%・420億円増の5兆5,295億円と2年連続の増加となりました。業態別では専業整備工場が同2.9%・583億円減の1兆9,364億円、兼業整備工場が同1.5%・102億円増の6,713億円、ディーラーが同3%・780億円増の2兆6,927億円、自家整備工場が同5.6%・121億円増の2,291億円でした。

作業内容別で全業態合計の売上高を見ると、自家用乗用車が対象となる「2年車検整備」が同1.1%・179億円増の1兆6,312億円、「1年車検整備」が同1.8%・98億円増の5,695億円、「定期点検整備合計」が同0.8%・28億円増の3,650億円、「その他整備」が同2.9%・527億円増の1兆8,855億円と軒並み増加した一方、「事故整備」は同3.7%・412億円減の1兆783億円となりました。事故整備に関しては全業態でマイナスとなり、先進安全装備搭載車の普及などが要因に挙げられます。

今回の調査時点での事業場数は、前年度比118軒減の91,883軒で3年連続の減少

となっています。指定工場数は同92軒増の30,075軒でした。

整備関係従業員数は535,418人で1,139人増、整備要員数は399,374人で同343人減（うち女性17,323人、同559人減）、整備士数は338,438人で2,078人増加（うち女性10,605人、同303人減）となりました。

整備要員の平均年齢（自家除く）は45.3歳で前年度と比較すると0.3歳、2年前と比較すると1歳上昇しています。

整備要員1人当たりの年間整備売上高（自家除く）は前年度比0.6%増の1,393.6

万円、整備要員1人当たり年間平均給与（自家除く）は同0.9%増の391.1万円でした。

全体では前年度を上回る売上高を記録しました。業態別ではディーラーが事故整備以外で前年度比増となった一方、専・兼業工場では6ヵ月定期点検以外で前年度比減となり、その明暗が分かれました。

自社の顧客をいかに確保し、いかなるサービスを提案していくのか、商圏の市場を見通した経営戦略がますます重要となることでしょう。

2018年度 業態・作業内容別整備売上高

（単位：億円）

業態		作業内容	車検整備			定期点検整備				事故整備	その他整備	合計
			2年	1年	小計	12ヵ月	6ヵ月	3ヵ月	小計			
専・兼業		売上高	8,092	3,986	12,078	491	150	350	991	5,213	7,795	26,077
		増減額	-179	-60	-239	-53	17	-15	-51	-171	-20	-481
		増減比	-2.2%	-1.5%	-1.9%	-9.7%	12.8%	-4.1%	-4.9%	-3.2%	-0.3%	-1.8%
	専業	売上高	5,635	3,389	9,024	310	116	310	736	3,931	5,673	19,364
		増減額	-309	-22	-331	-49	16	-9	-42	-78	-132	-583
		増減比	-5.2%	-0.6%	-3.5%	-13.6%	16.0%	-2.8%	-5.4%	-1.9%	-2.3%	-2.9%
	兼業	売上高	2,457	597	3,054	181	34	40	255	1,282	2,122	6,713
		増減額	130	-38	92	-4	1	-6	-9	-93	112	102
		増減比	5.6%	-6.0%	3.1%	-2.2%	3.0%	-13.0%	-3.4%	-6.8%	5.6%	1.5%
ディーラー	売上高	7,486	1,400	8,886	2,046	323	188	2,557	5,116	10,368	26,927	
	増減額	269	67	336	111	62	5	178	-244	510	780	
	増減比	3.7%	5.0%	3.9%	5.7%	23.8%	2.7%	7.5%	-4.6%	5.2%	3.0%	
自家	売上高	734	309	1,043	62	25	15	102	454	692	2,291	
合計	売上高	16,312	5,695	22,007	2,599	498	553	3,650	10,783	18,855	55,295	
	増減額	179	98	277	20	59	-51	28	-412	527	420	
	増減比	1.1%	1.8%	1.3%	0.8%	13.4%	-8.4%	0.8%	-3.7%	2.9%	0.8%	

工場ルポ

有限会社島田自動車工業

代表者：島田員明社長
所在地：島根県安来市西赤江町399

島田員明社長に、工場の取り組みについてお伺いしました。

・工場の概要を教えてください

1970年7月に、島田朝雄会長が修理・整備工場として立ち上げ、1996年に指定整備工場認可を取得しました。私は創業40周年にあたる9年前に社長に就任しました。スタッフ数は会長、私、事務2人、整備士3人の計7人です。月間平均入庫台数は60台ほどで、その内訳は車検整備6割、一般整備3割、钣金塗装1割です。

・NGPリサイクルパーツの活用方法は？

お客様の考えを尊重した上で、保険利用の有無にかかわらず費用を抑えたい要望のある方に、リサイクルパーツを提案しています。大きなトラブルもなく、何

かあったとしても販売店さんにすぐに対応していただけるので、安心して使わせてもらっています。

・ベルマークサポーターとして

一人ひとり小さい力かもしれませんが、お客様やスタッフと一緒に地域に貢献できるように頑張っていきたいと思います。



・工場の今後の課題や取り組み、展望などを聞かせてください

人材不足、整備士不足も課題ですが、先進安全自動車の整備に対応できるようにしていきたいです。その情報を得るためにも業界のつながりを大切にしたいと思います。また、お客様との関係強化を目指し、接客勉強会などを通して満足度の向上を図っていきます。



島田朝雄会長（左から3人目）島田員明社長（中央）とスタッフの皆様

ビッグモーター 宇部店

代表者：兼重宏行社長
所在地：山口県宇部市東須恵915-1

宇部店・钣金部の浜崎浩史工場長に、同店の取り組みについてお伺いしました。

・工場の概要を教えてください

1987年に整備、車販、軽钣金をメインとした店舗として開業し、2014年4月の新工場開設を機に本格的に钣金塗装業務を始めました。当社では3番目に歴史のある店舗となります。スタッフ数は私、フロント2人、引き取り納車1人、钣金2人、塗装2人の計8人です。钣金部門の月間平均入庫台数は200台で、売上の比率は5割がDRP、3割がユーザー、2割がグループ店舗など社内からの入庫となっています。

・NGPリサイクルパーツの活用方法は？

保険を使うお客様が減少している状況を考慮して、すべてのお客様にリサイク

ルパーツの提案を行っています。半数以上のお客様はリサイクルパーツでの修理を希望されます。お客様の負担も軽減でき、品質も確かなので、安心して紹介できています。

・工場の今後の課題や取り組み、展望などを聞かせてください



一度ご利用いただいたお客様に、ワンタッチ補修やメンテナンスのクーポンを配布するキャンペーンなどを行い、入庫促進を図っています。グループとして車にかかわるすべての作業を任せていただけるように、今後も顧客満足度の高い店舗作りを進めていきたいと思っています。



浜崎浩史BP工場長（下段中央）とスタッフの皆様

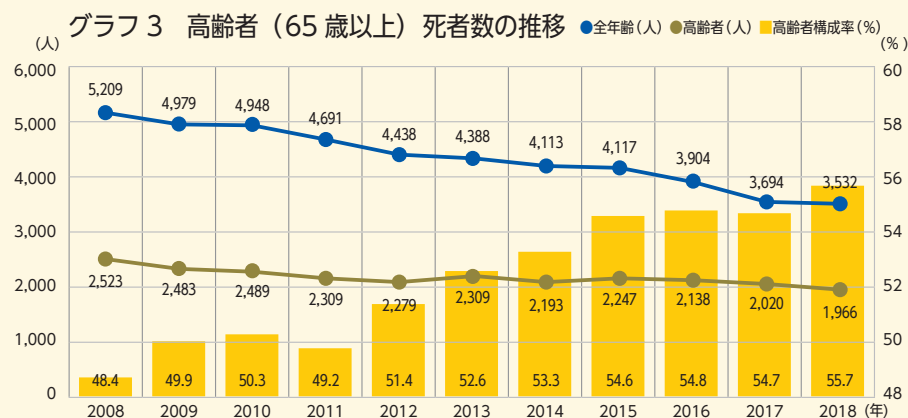
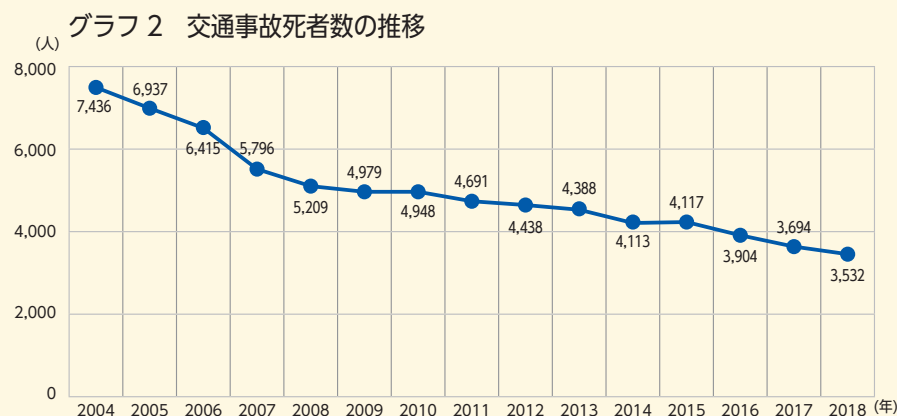
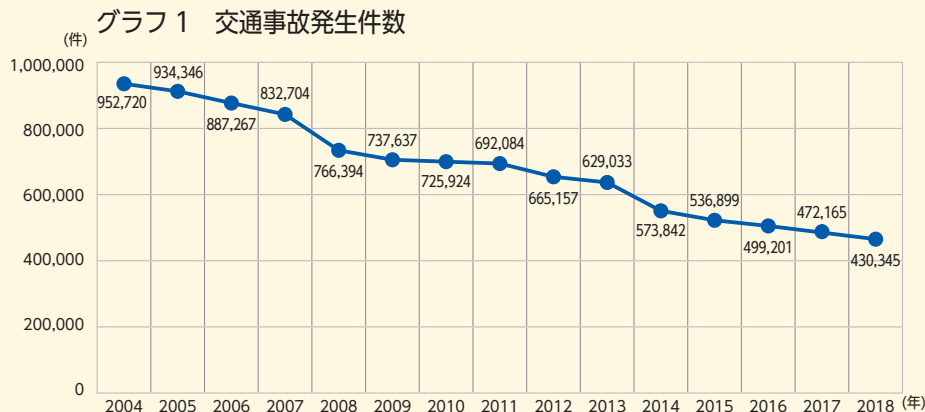
先進安全技術の普及などを受け、 交通事故発生件数は前年より4万件減少

警察庁はこのほど、2018年中の交通事故発生状況を発表しました。それによると、2018年に発生した交通事故の件数は、前年より41,820件少ない430,345件（-8.9%）（**グラフ1**）、負傷者数は同56,155人減の524,695人（-9.7%）でした。死者数は同162人減の3,532人（-4.4%）と、3年連続で4,000人を下回り、2年連続で統計開始以来最少となっています（**グラフ2**）。

事故発生件数は2004年以降減少傾向で、近年の交通安全の意識の高まりと自動車安全性能の向上によるものと考えられます。一方で65歳以上の高齢者の死者数は、絶対数こそ昨年より54人少ない1,966人でしたが、死者数全体の過半数を占めており、その比率は統計を開始した2008年から毎年上昇傾向にあります（**グラフ3**）。

この結果を受けて国家公安委員会は「2018年の交通事故による死者数は、警察庁が保有する1952年以降の統計で最少となりました。これは政府をはじめ、関係機関・団体や国民一人ひとりが交通事故の防止に向け、積極的に取り組んできた結果です」と分析しています。また、「国家公安委員会として、子どもと高齢者の安全確保や高齢運転者の交通事故防止に重点を置き、各界各層と連携を取り、交通安全教育、交通指導取り締まり、交通安全施設などの整備、先端技術の普及活動などの諸対策を着実に推進していきます」と、交通事故死者数減少に向けた取り組みをさらに強化する意向を示しています。

衝突被害軽減ブレーキをはじめとした先進安全装置の装着率は年々高まっており、それらの機能も急速に進化しています。また国連欧州経済委員会は、乗用車や小型商用車に対して衝突被害軽減ブレーキの搭載を義務づける規制案に、日本、EUなど約40カ国・地域が合意したと発表し、2020年初頭に発効する予定としています。人口減などを理由として保有台数の減少も確実視される中、事故発生件数は今後も減少し続けると考えられます。



NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

平成31年1月: **2,624t**



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

平成31年1月: **2.2t**

※自動車リサイクル部品産業共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含むと115品目）を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

第15回初級生産管理者・フロントマン研修会、第29回初級営業マン研修会を開催

環境の変化に対応し続けるため、 ビジネスパーソンとしての基礎力を磨く

第15回初級生産管理者・フロントマン研修会及び、第29回初級営業マン研修会が2月12～14日の3日間、BumB（ぶんぶ）東京スポーツ文化館（東京都江東区）で開催され、生産管理者22名、フロントマン12名、営業マン5名の、計39名が受講しました。

1日目には佐藤幸雄理事長が登壇し、自動車リサイクル部品業界を取り巻く環境の変化やNGPの理念について解説しました。そのなかで「NGPの研修では、組合員が組合員を指導し、組合員を成長させてきました。皆さん一人ひとりが研修を通じてスキルアップすることが、

NGPのスキルアップにつながります。研修で学び、しっかりと自社の業務に活かしてください」と、受講生を激励しました。

その後、生産・フロントと営業に分かれ、それぞれの業務に必要な知識を習得しています。

3日間の研修を終え、(有)小諸パーツセンターの中島慎人さんは「今回の研修で、お客様からクレームや指摘をいただくことは、会社や自分が成長できるチャンスであると感じました」と、お客様の意見をしっかりと聞くことの重要性を、再認識しています。



受講生を激励する佐藤幸雄理事長



マルトシ青木・青木社長、静岡県知事褒賞を受賞

地域産業発展への取り組みが評価される

NGP組合員である(株)マルトシ青木（静岡県藤枝市）の青木勝幸社長（NGP顧問）が、平成30年度の静岡県知事褒賞を受賞しました。

マルトシ青木は藤枝市内の工業団地「フジエダ・テクノタウン」に本社工場を構えており、青木社長は協同組合フジエダ・テクノタウンの理事長を務めています。今回の褒賞は、その理事長としての取り組みによる地域産業発展への貢献が認められたものです。

土地区画整理事業の一環として藤枝市内で工業用地の分譲が行われる際、青木社長は同地への工場移転を計画するとともに、他企業との連携による作業の合理

化などを目指して2003年に同組合を設立し、15年にわたって理事長を務めてきました。

「フジエダ・テクノタウンでは現在、建築関係や製造業などを営む6企業が操業しています。これまで組合事業として企業間の連携を図るとともに、各社の職場環境の改善に取り組んできました。これにより人材採用がしやすくなるとともに、スタッフの定着率を向上させることができました。今後も組合企業間での情報連携を続け、本業を成長させていくことはもちろん、新たな事業も生み出していきたいと考えています。さらなる価値をお客様に提供できるよう、努力を続け



青木勝幸社長



授与された褒状

ていきます」と、青木社長は「お客様第一」の精神のもと、さらなる発展を目指し続けていく姿勢を示しています。

■NGPニュースNo.334
(2019年1月号)プレゼントク
イズの正解はホンダのN-WGN
でした。青森県、神奈川県、沖
縄県在住の方3名様に1万円相
当のクオカードをお送りします。

訃報

31年2月5日、
大成自動車有限会社（福岡県粕屋郡）
代表取締役 杉本圭一郎様の
御尊父様・同社会長
杉本 薫（すぎもと かおる）様が
ご逝去されました（71歳）。
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

31年2月10日、
株式会社堀尾自動車部品（兵庫県姫路市）
代表取締役 福原光宣様の
奥様・同社取締役
福原かおり（ふくはら かおり）様が
ご逝去されました（享年47歳）。
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

31年2月23日、
有限会社カンジ自動車商会（福島県福島市）
代表取締役 官野貫司様が
ご逝去されました（行年72歳）。
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/